

愛媛県任期制隊員

合同企業説明会を開催

「新たな世界に挑戦する隊員を応援します」

令和4年8月22日(月)、任期制退職予定の隊員を対象とした再就職のための合同企業説明会をホテルメルパルク松山で開催しました。

合同企業説明会は、退職自衛官の採用を希望している企業を招き、隊員と企業のマッチングを図ることを目的としたイベントです。令和4年度は53社(来場企業37社・Web参加16社)の協力を得て開催することができました。合同企業説明会では、参加隊員が様々な業種の企業の中から面談先を選択し、直接話を聞くことにより、疑問や不安を一つ一つ解消することができます。それは、隊員の安心だけでなく、隊員のご家族様の安心にも繋がるものと考えています。また、合同企業説明会前には就職補導教育を実施し、面接の受け方や部外講師によるビジネスマナーを学び、合同企業説明会に備えてきました。参加した13名の隊員は、面談開始直後は緊張の面持ちであったものの、すぐに「将来働いてもよいと思える会社を見つけよう。」という強い意志を感じる鋭い目で面談に臨んでいました。

愛媛地方協力本部独自の取り組みとして、企業説明会当日に参加隊員を対象とした企業による業務等のプレゼンテーションの時間を設けています。隊員は、企業のプレゼンテーションを聞いて、事前に求人票などの資料を基に面談を希望していた企業だけではなく、新たに興味が生じた企業との面談に臨むこともできます。

愛媛地方協力本部の企業説明会は、他県と比較して規模が小さいものですが、「小さい」ということを利点と捉えて、隊員にメリットのある施策を取り入れています。任期満了退職を迎える隊員が新しい生活をスタートできるように、全力でお手伝いします。



企業面談の様子



Web面談も実施

インターンシップ研修

受け入れを実施

令和4年9月5日(月)から9日(金)までの5日間、大学コンソーシアム愛媛が主催するインターンシップに参加し、研修生9名を受け入れられました。

初日は愛媛地本において、本部長講話、概要説明、大卒女性自衛官との懇談、松山募集案内所の見学を実施しました。自衛官のリアルな声を聞いて、自衛隊に対するイメージが少し変わったようでした。2日目は、海上自衛隊で呉地方総監とお会いし、江田島地区で幹部候補生学校や第1術科学校、教育参考館等の見学を実施しました。伝統ある海上自衛隊の文化を感じながら、幹部候補生として入隊した場合の具体的なイメージができたようでした。3日目は、交通艇で港内クルーズをしながら様々な艦艇の説明を受けた後、陸上自衛隊の海田市駐屯地へ移動し、迷彩服に着替えて研修を実施しました。また、この日は自分たちで展張した天幕で宿泊しました。迷彩服の着用や、航空自衛隊隊防府北基地で第12飛行教育団司令の講話、管制隊、気象隊を見学し、初等練習機であるT-7の説明を受けました。自衛隊は体力のイメージが強かったけれど、学力も重要であると感じたようでした。さらに基地・駐屯地研修期間中は隊員食堂での体験喫食も実施し、美味しかったという声が多く聞かれました。最終日は、「自衛隊を職業選択の1つとして考えてもらうための広報戦略」についてグループ毎に学生目線での広報戦略についてプレゼンしていただき、今後の広報の参考となりました。

研修全般を通して、「様々な自衛官に会い、実際に現場を肌で感じたことで自衛隊を職業候補として具体的に考えられるようになった。」等の所感があり、学生たちは本インターンシップで多くのことを得ることができたようです。今後も大学生等に対し自衛隊への理解を深化させ、募集広報基盤を拡充していきたいと思えます。



自分達で天幕を張る様子



第12飛行教育団司令の講話

第14旅団募集広報の日

令和4年8月6日(土)、第14旅団が実施する募集広報の日に参加しました。

本広報活動は、四国4県の募集対象者、保護者等に対し行われ、愛媛県内からは42名が参加しました。当日は、快晴の中、新型コロナウイルス感染症予防対策に併せて、熱中症対策にも細心の注意を払いながら、陸上自衛隊の職種・装備品・活動内容の紹介、中隊長・先輩隊員との懇談、体験喫食、施設見学等を行いました。特に職種紹介では、第14旅団各部隊の真摯な対応により、自衛隊への理解及び関心度が非常に高まりました。



職種説明や活動内容を聞く参加者



装備品見学

今後とも多くの県民に自衛隊への関心をもっていただけるよう様々な機会を作り、県民と自衛隊の架け橋となっていきたいと思えます。

大街道で広報展示

松山募集案内所は、8月20日(土)及び21日(日)の2日間にわたり、期間限定で松山の繁華街である大街道に募集広報ブースを出展しました。

大街道でのイベントは、初めての試みでしたが、2日間で約400名が訪れました。また、イベントでは、装備品展示、背のう及びVRゴーグルによる体験型の物を主体として実施しましたが、幅広い年齢層の方に興味を持っていただきました。

今回この企画を通じて、地域住民の方々に対し我々自衛官の存在を身近に感じてもらえ、自衛隊の活動をより深く理解していただけたように思います。

今後も引き続き、更に多くの方々に自衛隊を身近に感じていただければ募集・広報活動をしていきたいと思えます。



会場外の様子



会場内の様子



今治市民のまつり「おんまく」に参加

令和4年8月6日(土)と7日(日)、今治市民のまつり「おんまく」が開催され、今治地域事務所は6日(土)の本祭りに呉地方総監部及び松山駐屯地の協力を得て広報ブースを出展しました。



出展ブースの様子

本まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響で近年中止になっていましたが、一部縮小開催であったものの、3年ぶりに開催され大いに盛り上がりました。自衛隊広報ブースでは制服試着コーナー、装備品展示、松山駐屯地から支援を受けたオートバイやパジェロの展示を組み合わせ、写真撮影などで賑わいました。また、呉地方総監部からイメージキャラクターの「くれこ」と「やまと」が遊びに来てくれたほか、海上自衛隊広報ブース開設など自衛隊広報ブースをより一層盛り上げていただきました。このイベントを通じて、市民の皆様には自衛隊の活動に対する理解を深め、少しは身近に感じてもらうことができたように思います。今治地域事務所では、今後も自衛隊がさらに身近な存在になれるよう、目で見えて触って心に残るイベントを開催していきます。最後になりましたが、猛暑の中、多大なご支援をいただきました実行委員の皆様、呉地方総監部広報推進室及び中部方面特科隊第2中隊の皆様に感謝申し上げます。

宇和島市民のまつり「牛鬼まつり」に参加

令和4年7月22日(金)から24日(日)に宇和島で開催された「うわじま牛鬼まつり」において広報活動を行い、延べ2800名の方にご来場いただきました。



歓迎式の様子

23日は、きさいや広場において自衛隊VRと自衛隊制服試着を体験していただき、翌24日には、海上自衛隊の多用途支援艦げんかいによる艦艇一般公開を3年ぶりに開催し乗艦見学を満喫していただきました。同日、きさいや広場での航空自衛隊西部航空音楽隊による演奏会では素晴らしい音色に多くの方が魅了されました。また、それぞれの部隊に対し、うわじま牛鬼まつり実行委員会主催による歓迎式が催され、宇和島市長より熱いエールを賜りました。艦艇見学会場で、陸上自衛隊装備品(野外炊具1号、水トレーラー、大型トラック、中型トラック)、西部航空方面隊による移動広報(VR体験、模擬操縦体験)や愛媛地方協力本部による広報(ミニ制服の試着体験、南極の水体験)等も合わせて展示し、陸海空自衛隊を存分に満喫していただけたものと推察します。

西部航空方面隊副司令官が来訪

令和4年8月26日(金)に、地本本部において西部航空方面隊副司令官 高橋空将補の表敬を受けました。



副司令官と本部長の懇談

高橋空将補は本部長をはじめ、副本部長以下主要幹部による出迎えの中、地本に到着され、本部長との懇談を行いました。庁内視察においては、本部内各課を訪問され、奮闘する航空自衛官を含む各課員を激励されました。高橋空将補は激励の際、航空自衛隊基地が無い愛媛県において、今後も西部航空方面隊として、音楽隊のコンサートや西部方面隊の装備品の展示等、地本の広報活動に対する支援を積極的に行う旨を述べられました。その後、小原隊友会長と面会され、西部航空方面隊の現状と今後について、活発に意見交換をされました。

職場体験の実施

令和4年8月22日(月)から26日(金)の間、松山市立久米中学校、東温市立重信中学校、新居浜市立川東中学校の2年生計24名に対し職場体験学習を実施しました。



8月22日(月)、24日(水)、26日(金)に松山駐屯地の協力を、8月25日(木)には海上自衛隊第42掃海隊の支援を受けました。松山駐屯地では、午前中「自衛隊を知る」をテーマに自衛隊の紹介DVDを視聴してもらい、自衛官の1日の勤務内容、各種職種の説明、松山駐屯地の紹介を実施しました。その後、護身術の体験してもらいました。午後からは、事務室の見学、資料館の見学、各種装備品の搭乗体験等を実施しました。中学生も最初は緊張していましたが、徐々に緊張も解け興味津々に質問していました。海上自衛隊の掃海艇「つしま」においては、エンジンの見学、ロープワーク、手旗信号の体験、処分艇の体験搭乗を実施してもらい、中学生も普段体験できない内容なのでとても興味をもって学習していました。短期間の体験学習ではありましたが、参加者からは、「怖そうなおイメージだったが、自衛隊に対するイメージが変わりました。」「もっと自衛隊の事を知りたいです。」等、自衛隊に対して前向きな意見をもらいました。今後とも実際に見て体験して、自衛隊への理解と興味を深めてもらうため、様々な広報活動を通じて自衛隊の魅力をお伝えしていきたいと思っております。

2等海佐 渡邊 秀樹
令和4年10月3日付で自衛隊愛媛地方協力本部募集課長として着任いたしました渡邊2佐と申します。徳島県出身の海上自衛官で、年齢は52歳です。愛媛県には、子供の頃に家族旅行で、両親と兄弟、祖父母に親戚家族も一緒になって大人数で参りまして、とても楽しかった思い出が残っています。その愛媛県に、この度赴任できましたことは、私にとり大変に喜ばしいことであり、募集課長に配置されましたことは大変光栄なことであると考えております。一所懸命、職務に励む所存でありますので、皆様どうか、よろしくご厚意申し上げます。



募集課長

3等陸佐 福本 陽一
令和4年8月1日付で自衛隊愛媛地方協力本部募集課広報室長に就任いたしました福本3佐です。地方協力本部勤務は初めてとなります。前職は、陸上自衛隊幹部候補生学校(前川原)の企画室で勤務しておりました。出身は愛媛県砥部町で自宅は東温市にあり、今回4年ぶりに単身解消となります。再び地元で勤務させていただく機会を得たことに大変喜びと楽しみを感じております。



広報室長

1等陸尉 片岡 健司
令和4年8月1日付で松山募集案内所長として着任いたしました片岡1尉です。松山は、初めての不安もありました。しかし、中隊長という貴重な経験もさせていただき今後、どうしようかと考えていた時、地方協力本部なら単身赴任の解消ができるだけでなく、後輩獲得として自衛隊にも大いに寄与できるとともに地元にも寄与できると考え希望しました。今、着任してようやく2か月が経ちますが、まだまだ分からないことや、うまくいかないこと等あり

近年、コロナ禍の状況において各種イベントの開催が中止される中、制限はあるもの少しずつイベントも開催されるようになっていきます。そういった制限にも適応し、優秀な人材の確保につながる広報の在り方について真剣に知恵を振り絞り、しっかりと業務に邁進していきたいと思っております。関係各位との連携を図りながら、地方協力本部の円滑な業務遂行のため努力してまいりますので、皆様の御指導と御鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

採用試験情報

採用種目	受付期間	試験日	受験資格等
自衛官候補生	男女	~11月4日	【第7回】11月8日~10日(いずれか1日)
	男女	~12月2日	【第7回】12月5日~7日(いずれか1日)
防衛大 大学生	一般	~10月26日	1次: 11月5日・6日 2次: 12月6日~10日(いずれか1日)
医科・歯科幹部	~10月30日	11月18日	医師免許又は歯科医師免許保有者
貸費学生	~11月11日	12月3日	理学部若しくは工学部の第3年次、第4年次又は大学院修士課程に在学し卒業後ただちに自衛隊に勤務しようとする者

※試験期日等については変更する場合があります。



募集班長 1等空尉 福村 真美
令和4年8月1日付で愛媛地方協力本部募集課募集班長に着任いたしました福村1尉です。地方協力本部勤務は初めてになります。前職は青森県にある航空自衛隊三沢基地の第3航空団で勤務しておりました。自衛隊を取り巻く募集環境は厳しい状況ですが、優秀な人材の確保のため、関係各位と連携を図りながら創意工夫を心掛け、目標の達成に尽力したいと考えておりますので皆様の御指導と鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

私の出身地でもあります地方協力本部勤務は、初めてで不安もありました。しかし、中隊長という貴重な経験もさせていただき今後、どうしようかと考えていた時、地方協力本部なら単身赴任の解消ができるだけでなく、後輩獲得として自衛隊にも大いに寄与できるとともに地元にも寄与できると考え希望しました。今、着任してようやく2か月が経ちますが、まだまだ分からないことや、うまくいかないこと等あり

人事

転入

◆松山募集案内所 広報官(9月1日付)
掃海艇えたじま(呉)から
2等海曹 大西 勇人
◆募集課長(9月1日付)
海上幕僚部(市ヶ谷)から
2等海佐 渡邊 秀樹
(以上、10月3日付)
ようこそ!愛媛地本へ

転出

◆募集課長から
第1術科学校(江田島)へ
2等海佐 亀井 良之
(以上、10月3日付)
新しい勤務地での活躍を
祈念しております

イベント情報 などホームページで確認するっぴ(▽)/ QRコードで読み取ってほしいっぴ

フォローしてピチッ!

HP Twitter Facebook Instagram